

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

本機は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-M7810



安全のために

本機は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となります。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていなかいか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示

目次

△警告・△注意	4
はじめに	7
準備	8
本機をリセットする	8
時計を合わせる	8
デモモードについて	9
フロントパネルについて	9
CD・ラジオの聞きかた	10
各部のなまえ	12
本体	12
カードリモコン	14

CD/MP3/ATRAC CD

CD/MP3/ATRAC CDを聞く	16
聞きたいグループ (フォルダー) / 曲を選ぶ	16
曲中の聞きたいところを探す	16
表示窓の見かた	17
繰り返し聞く (リピート再生)	18
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	18

ラジオ

放送局を自動で登録する	19
表示窓の見かた	20
旅先などで、登録した放送局が 受信できないとき	20
ステレオ放送が聞きにくいとき	20
FM放送の混信を自動的に軽減する (IF Auto)	21
放送局を手動で登録する	21
放送局を名前で探す (リスト)	22

サウンドの設定

DSOを設定する	23
イコライザーを使う (EQ7)	24
イコライザーカーブを選ぶ	24
好きなイコライザーカーブを 登録する	24

音質や音のバランスを設定する (バス・トレブル・バランス・フェー ダー・サブウーファー)	25
スピーカーのカットオフ周波数を選ぶ (HPF・LPF)	26

その他の操作

音や表示などの設定を換える	28
画面モード・表示画像を 設定する	30
好きな画像のみを表示する	30
Auto Imageモードに設定する	30
ディスク/放送局に名前をつける (カスタムファイルーディスクメモ・ ステーションメモ)	31
名前をつける	31
名前を消去する	32
別売りの機器をつなぐ	33
CD/MDチェンジャーを聞く	33
ロータリーコマンダーを使う	35
ポータブル機器の音声を聞く (AUX)	37

その他の情報

使用上のご注意	38
CDについて	38
MP3について	39
ATRAC CDについて	40
本機の取り扱い	41
カードリモコンの電池の入れかた	42
その他のご注意	42
故障かな?	43
エラー/メッセージ表示	46
保証書とアフターサービス	48
主な仕様	48
索引	50



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・
感電により死亡や大けがの原因
となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、自分で取り付けるときは、「取り
付けと接続」の説明に従って、正しく取り
付けてください。正しい取り付けをしない
と、火災や感電の原因となります。



指示



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となり
ます。万一、水や異物が入ったときは、す
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ
に記された規定容量のアンペア数のもの
をお使いください。規定容量を超えるヒュー
ズを使うと、火災の原因となります。



指示

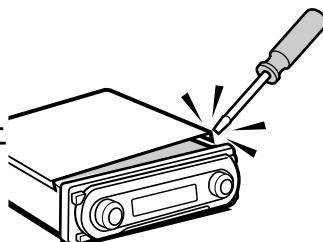
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



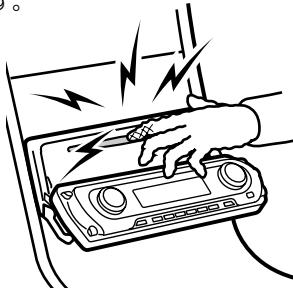


下記の注意を守らないとけがをしたり**自動車に損害**を与えることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
内部で手はさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

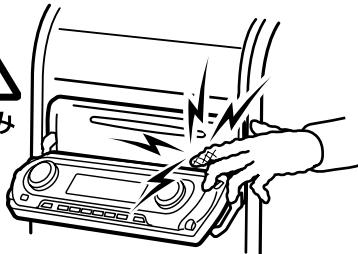
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

フロントパネルの開閉中は、手を近づけない

手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み

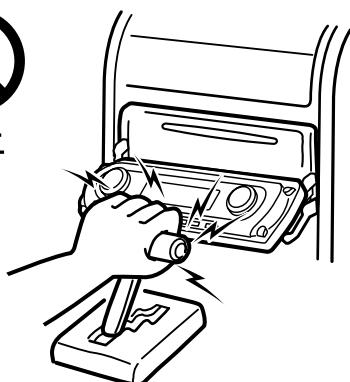


走行中はフロントパネルを開けない

車両によってはフロントパネルが開いていると運転操作の妨げになる場合があります。この場合は、ディスクの取り出しや交換は必ず車を止めて行って下さい。また、フロントパネルを閉めてから走行してください。



禁止



電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。



- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- 乳幼児の手の届かないところに置く。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
- 電池の（+）と（-）を正しく入れる。
- ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池は充電しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。



- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させない。
- 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- 電池を水などで濡らさない。

はじめに

- さまざまなフォーマットのCDに対応。

CD：音楽用CD/音楽用CD-R/音楽用CD-RW/

CD TEXT*

MP3ファイル：CD-ROM/CD-R/CD-RW

(ISO9660レベル1/レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録している)、マルチセッション対応

ATRAC CD：CD-ROM/CD-R/CD-RW

(ATRAC3、ATRAC3plusフォーマット)

ソニー製のネットワークオーディオ製品に付属しているSonicStage 2.0以降、または

SonicStage Simple Burner 1.0/1.1などの

ソフトウェアを使って作成したCDを、車内でも楽しむことができます。

* ディスク名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

- 独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現するDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能搭載。

- 好みの音質に調節可能な7バンドイコライザー(EQ7)機能搭載。

- MP3音源などを豊かに再生するBBE MP*機能搭載。

* BBE MPプロセスはデジタル圧縮技術によって失われた高調波を修復、補修することにより、MP3などのデジタル圧縮された音声の音質を改善します。BBE MPは、最適量の偶数次高調波と奇数次高調波をもとの音から作り出し原音に加えることにより、効果的にやわらかさ、ディテール、ニュアンスなどを再現します。

- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー(別売り)に対応。

この取扱説明書では、本機の使いかたのほかに、付属のコードリモコンおよび別売りのソニー製ロータリーコマンダー、ソニー製CD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

- “ATRAC”、“ATRAC3”および“ATRAC3plus”は、ソニー株式会社の商標です。
- “SonicStage”およびそのロゴは、ソニー株式会社の商標です。

オーディオCD	 
MP3 ATRAC CD	 

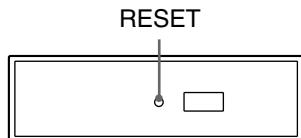
BBE MP
DIGITAL

準備

本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、RESETボタンを押す必要があります。

まずフロントパネルを取り外し、RESETボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

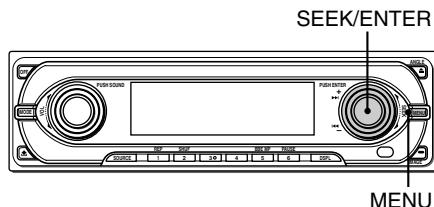


ご注意

- RESETボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- RESETボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にCDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はCDを入れないでください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



1 MENUボタンを押す。

2 SEEKダイヤルを回して「Setup」を選び、ENTERボタンを押す。

3 SEEKダイヤルを回して「Clock Adjust」を選び、ENTERボタンを押す。

「時」が反転します。



① SEEKダイヤルを回して、「時」を合わせる。

② ENTERボタン押す。

「分」が反転します。

③ SEEKダイヤルを回して、「分」を合わせる。

4 ENTERボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常の画面が表示されます。

時計を表示させるには

「Clock on」に設定します。(28ページ)

デモモードについて

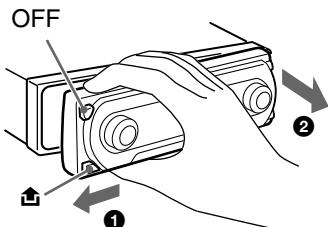
RESETボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、「Demo」(デモモード)を「off」にしてください。(28ページ)

フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。

取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、ボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルを左に押しながら手前に引くと外れます。

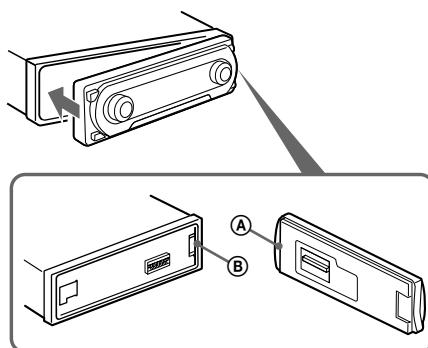


ご注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。変形するおそれがあります。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。変形による故障の原因となります。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース(付属)に入れてください。
そのまま放置すると、落下による破損や故障およびキズになるおそれがあります。

取り付けかた

フロントパネルのⒶ部分と本体のⒷ部分を合わせます。フロントパネルの左側も合わせて力チップとはまるまで押します。



CD・ラジオの聞きかた

CDを聞く

本機は8cmCDの再生はできません。

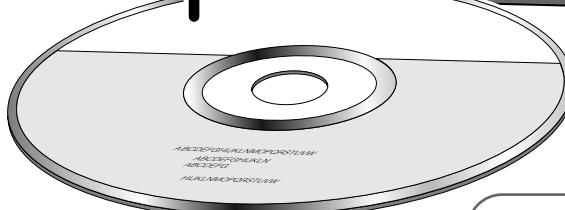
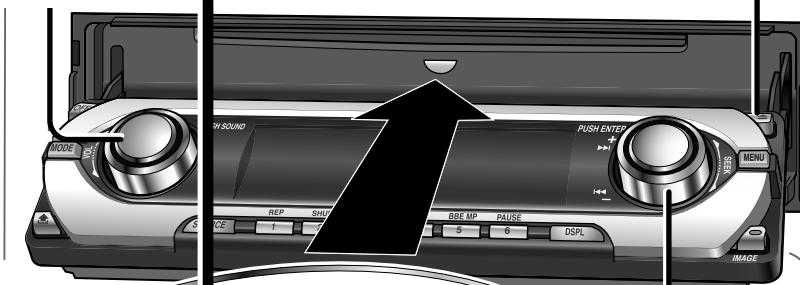
8cmCDアダプターも故障の原因になりますので、使用しないでください。

2 CDを入れる

ラベル面を上にして入れます。
自動的に再生が始まります。

音量を

調節する



ディスクが入っているときは
SOURCEボタンを押して「CD」表示にする
と再生が始まります。

表示を切り換えるには
DSPLボタンを押します。

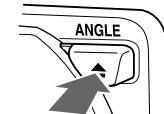
止める/電源を切るには
OFFボタンを押します。

一時停止するには
数字ボタン6(PAUSE)を押します。もう一度押すと再生が始まります。

CDを取り出すには
▲ボタンを押します。
ちょっと一言
フロントパネルは15秒後に自動的に閉まります。

1 フロントパネル を開ける

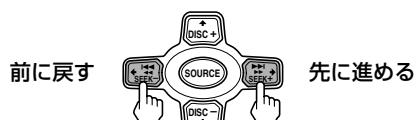
▲ボタンを押します。
ちょっと一言



ディスクをロードしたら、
フロントパネルは自動的に閉まります。

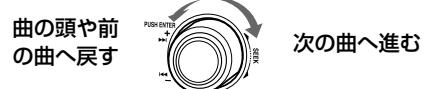
聞きたいところを探す(手動サーチ)

カードリモコンの◀または▶を押し続け、
聞きたいところで離します。



曲の頭出しをする (自動選曲センサー(AMS))

ENTERボタンを繰り返し押して「◀◀/▶▶」を選び、SEEKダイヤルを回します。



ラジオを聞く

2 聞きたいバンドを選ぶ

MODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

止める/電源を切る

音量を調節する



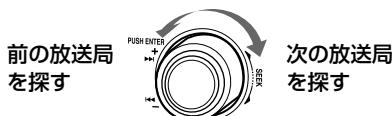
3 聞きたい放送局を選ぶ

放送局を登録してあるときに選ぶことができます。
登録のしかたは19、21ページをご覧ください。

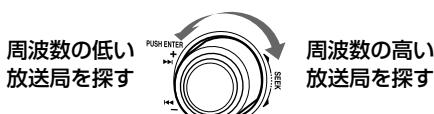
1 ラジオ受信にする

SOURCEボタンを押して「TUNER」を選びます。

自動選局で受信する(自動選局)
ENTERボタンを繰り返し押して「SEEK」を選び、SEEKダイヤルを回します。



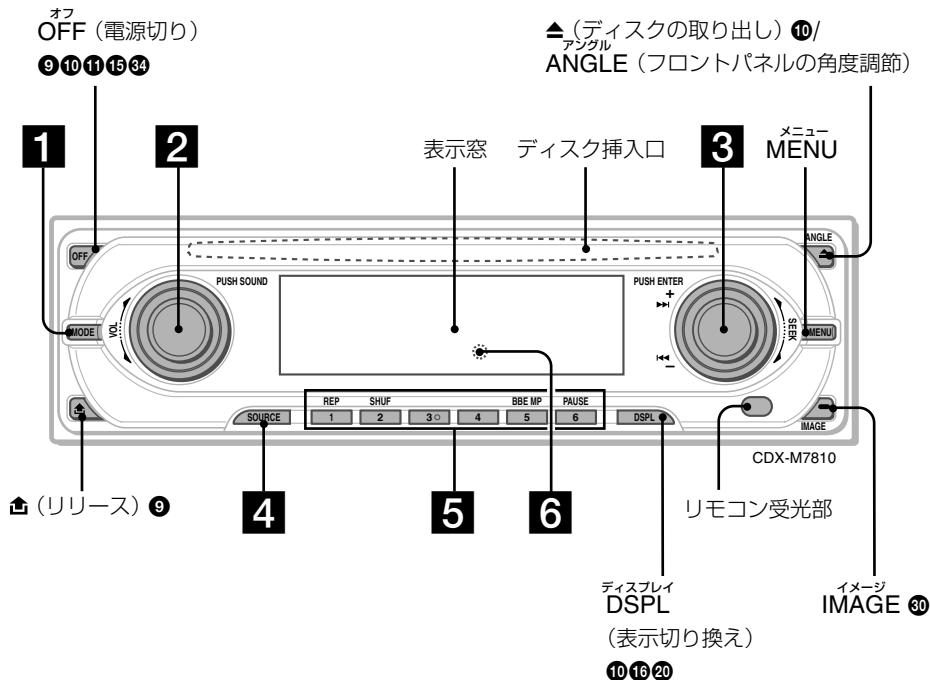
希望の放送局を受信する(手動選局)
ENTERボタンを繰り返し押して「MANUAL」を選び、聞きたい放送局の周波数になるまでSEEKダイヤルを回します。



各部のなまえ

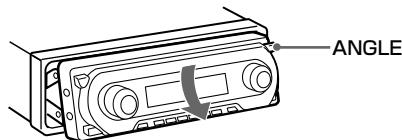
くわしい説明は●内のページをご覧ください。

本体



フロントパネルの角度を調節するには

お好みの角度になるまで、繰り返し
ANGLEボタンを押し続ける。
3段階の角度に設定することができま
す。



初期設定に戻すには
初期設定になるまで、繰り返しANGLEボタンを押し続けます。

ちょっと一言

- ・フロントパネルが開いたあとも、設定した角度に自動で戻ります。
 - ・設定した角度は本機に記憶されます。イグニッションスイッチがOFFのときは初期設定に戻りますが、ONにすると設定した角度になります。

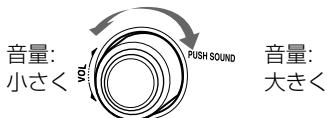
1 モードボタン

ラジオ FM1/FM2/AM1/AM2の切り換え ⑪⑯⑰

CD (MD) 接続機器の選択 ⑬

2 ボリューム/VOLダイヤル (音量調節) /サウンドSOUNDボタン (音質選択) ⑳㉑㉒㉓

回すと：



サウンド設定時：サウンドの調節

押すと：



3 エンターボタン (設定の選択/各種設定の確定) /SEEKダイヤル (ラジオ選局/頭出し/グループ選択*¹)

押すと：

ラジオ：「MANUAL」、「SEEK」、「PRESET」
CD：「◀▶」「GROUP」*¹



回すと：



ラジオ	周波数の低い放送局へ ⑪⑲	周波数の高い放送局へ ⑩⑳
-----	------------------	------------------

CD	前の曲/グループへ ⑩⑯	次の曲/グループへ ⑩⑯
----	-----------------	-----------------

4 ソース SOURCEボタン (ラジオ/CD切り換え)

5 数字 (1~6) ボタン

ラジオ 放送局の登録/選択 ⑪⑯⑰

CD 1：リピート REPEATボタン ⑯⑰
2：シャッフル SHUFボタン ⑯⑰
5：BBE MPボタン*² ⑦

「BBE MP-on」にすると
BBE MP機能が働きま
す。解除するには「BBE
MP-off」に設定します。
6：PAUSEボタン*² ⑩
再生を一時停止します。

6 リセット RESETボタン ⑧

フロントパネルのうしろにあります。

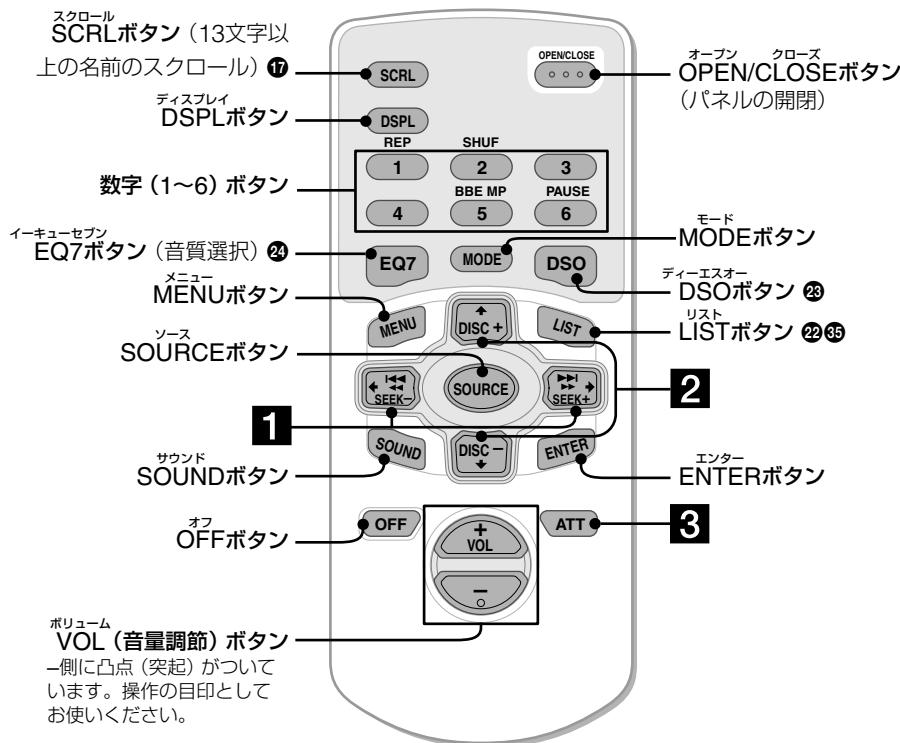
*¹ MP3、ATRAC CD再生時のみ

*² 本機でディスクを再生するときのみ

ACCポジションのない車のときは、OFFボタンを押し続けて表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

カードリモコン

本体と同じ名称のボタンは、本体と同じ働きをします。



RM-X143

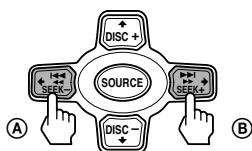
ご注意

電源を切り表示窓を消しているときは、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってからお使いください。

ちょっと一言

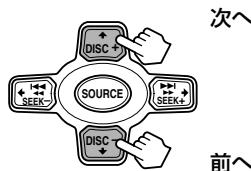
内蔵のリチウム電池の交換のしかたについては「カードリモコンの電池の入れかた」(42ページ)をご覧ください。

1 ←→ (SEEK -/+) ボタン
(ラジオ選局/頭出し/設定項目選択)



	Ⓐ	Ⓑ
ラジオ	周波数の低い放送局へ	周波数の高い放送局へ
CD	前の曲へ (短く押す) 早戻し (押し続ける) ⑩⑯	次の曲へ (短く押す) 早送り (押し続ける) ⑩⑯

2 ↑↓ (DISC +/−) ボタン
(プリセットサーチ/グループ選択*/メニュー項目選択)



ラジオ	登録した局の選局
CD	グループの選択 (長めに押す) *

* MP3、ATRAC CD再生時のみ

3 ATTボタン

音量を瞬時に小さくしたいときに押します。「ATT-on」と表示され、自動的に音量を下げます。

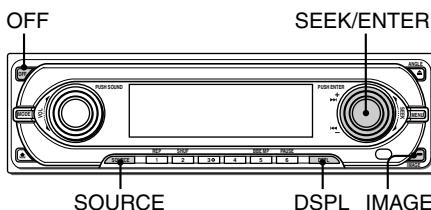
もう一度押すと、「ATT-off」と表示され、もとの音量に戻ります。

本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビゲーションシステムとを接続していると、カーナビゲーションシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。(ナビATT機能)

CD/MP3/ATRAC CDを聞く

本機はCDやMP3ファイル、ATRAC CDを再生できます。また、CD TEXTディスクやMP3ファイル、ATRAC CDを再生中にその文字情報（曲名、アーティスト名、グループ名など）を表示できます。

別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続する場合の操作については、33ページをご覧ください。



聞きたいグループ（フォルダー）/曲を選ぶ

- 1 再生中にENTERボタンを繰り返し押して、「GROUP」または「◀◀/▶▶」を選ぶ。
- 2 SEEKダイヤルを回して、聞きたいグループまたは曲を選ぶ。

通常の画面が表示され、再生が始まります。

曲中の聞きたいところを探す

- 1 再生中にカードリモコンの←または→を押し続けて、聞きたいところで離す。

再生をやめるには

SOURCEボタンを押して別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

MP3、ATRAC CD再生時のご注意

MP3、ATRAC CD再生時は、初めにディスク内の情報（グループ、トラック数など）を読み取るため、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。読み取り中は本機の表示窓に「Read」と表示されますので、完全に表示が消え、自動で再生が始まるまでお待ちください。

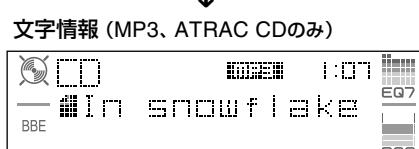
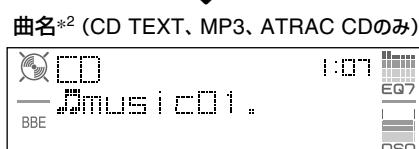
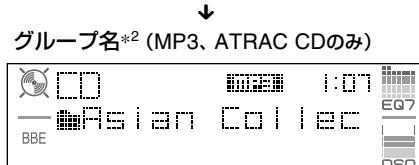
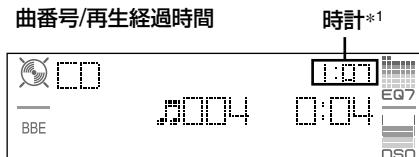
ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り替えます。

IMAGEボタンを繰り返し押して通常画面を選ぶと(30ページ)、下記のように表示されます。



CD / MP3 / ATRAC CD

CD TEXTディスクについてのご注意

- ディスクに記録されている文字数が極端に多い場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。
- 曲ごとのアーティスト名は表示されません。

MP3ファイル再生時のご注意

次の場合には再生経過時間表示が実際と異なることがあります。

- VBR (Variable Bit Rate : 可変ビットレート) のMP3ファイルを再生したとき
- 早送り、早戻し(手動サーチ)をしたとき

ちょっと一言

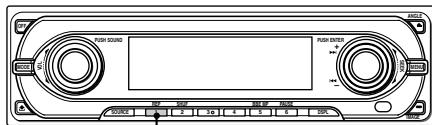
- 本機では、CD TEXTディスクやMP3、ATRAC CDに記録されているディスク名/アーティスト名や曲名などについては半角英数字と記号のみ表示できます。それ以外の文字は「■」と表示されます。
- 文字数が多く、一度に表示されない場合は、カーデリモコンのSCRLボタンを押してスクロールさせるか、「音や表示などの設定を換える」(28~29ページ)で「A.Scroll on」にしてください。スクロールして表示されるようになります。
- 文字情報は「曲名/アーティスト名/グループ名」が順に表示されます。

*1 「Clock on」に設定すると表示されます。(28ページ)

*2 ディスク名、グループ名、曲名がついていないときは、それぞれ「NO Disc Name」、「NO Group Name」、「NO Track Name」と表示した後、再生経過時間表示になります。

繰り返し聞く (リピート再生)

再生中の曲のみ、またはグループ内の全曲を繰り返し聞くことができます。



REP

- 1 再生中にREPボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

REP-Track → REP-Group* →
REP-off → REP-Track → …

表示	機能
REP-Track	再生中の曲を繰り返す。
REP-Group*	再生中のグループ内の全曲を繰り返す。

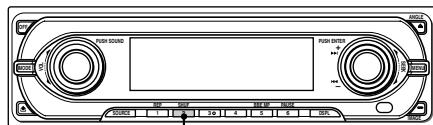
* MP3、ATRAC CD再生時のみ表示されます。

リピート再生をやめるには

REPボタンを繰り返し押して、「REP-off」を選びます。

曲順を変えて聞く (シャッフル再生)

再生中のグループ内の全曲、またはディスク内全曲の曲順を変えて聞くことができます。



SHUF

- 1 再生中にSHUFボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

SHUF-Group* → SHUF-Disc →
SHUF-off → SHUF-Group* → …

表示	機能
SHUF-Group*	再生中のグループ内の全曲を順不同に再生する。
SHUF-Disc	再生中のディスク内の全曲を順不同に再生する。

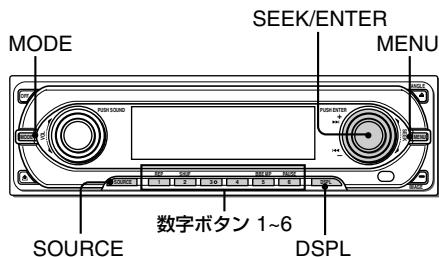
* MP3、ATRAC CD再生時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには

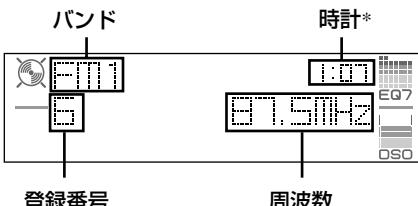
SHUFボタンを繰り返し押して、「SHUF-off」を選びます。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。



*「Clock on」に設定すると表示されます。
(28ページ)

2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

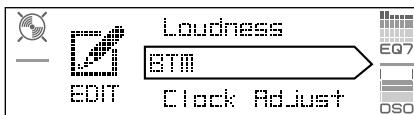
押すごとに、表示は次のように切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 →
FM1 → ...

3 MENUボタンを押す。

4 SEEKダイヤルを回して「Edit」を選び、ENTERボタンを押す。

5 SEEKダイヤルを回して、「BTM」を選び、ENTERボタンを押す。



選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終わると通常の画面が表示されます。

登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタンを押す、またはENTERボタンを繰り返し押して「PRESET」を選び、SEEKダイヤルを回して聞きたい放送局を選びます。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されている場合は、それ以降の番号に放送局が登録されます。

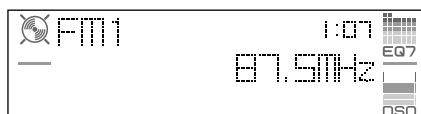
[次のページへつづく](#)

表示窓の見かた

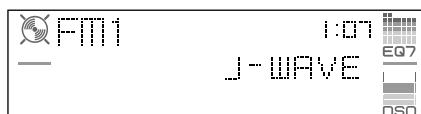
ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り替えます。

IMAGEボタンを繰り返し押して通常画面を選ぶと（30ページ）、下記のように表示されます。

周波数



放送局名*



* 名前がついていないときは、「NO Name」と表示されます。

名前の登録のしかたについては、31~32ページをご覧ください。

旅先などで、登録した放送局が受信できないとき

ラジオ受信中にENTERボタンを繰り返し押して「SEEK」を選び、SEEKダイヤルを回します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局を受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、ENTERボタンを繰り返し押して「MANUAL」を選び、SEEKダイヤルを回します。0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。

• 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。

- 1 ラジオ受信中に、MENUボタンを押す。
- 2 SEEKダイヤルを回して「Receive Mode」を選び、ENTERボタンを押す。
- 3 SEEKダイヤルを回して「Local」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SEEKダイヤルを回して「on」を選び、ENTERボタンを押す。
- 5 MENUボタンを押す。

放送局を探している間は「Local Seek +/-」と表示されます。

ふつうの受信に戻すには

手順4で「off」を選びます。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 FM受信中に、MENUボタンを押す。
- 2 SEEKダイヤルを回して「Receive Mode」を選び、ENTERボタンを押す。
- 3 SEEKダイヤルを回して「Mono」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SEEKダイヤルを回して「on」を選び、ENTERボタンを押す。
- 5 MENUボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順4で「off」を選びます。

ちょっと一言

FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「DSO off」にすると聞きやすくなります。（23ページ）

FM放送の混信を自動的に軽減する(IF Auto)

受信している周波数の近くに他の放送局があると、混信による雑音で放送が聞きにくくなることがあります。本機では、受信する周波数帯域幅を狭めたり、モノラル音声にすることで、自動的に放送を聞きやすくしています(IF Autoモード)。

ステレオ放送を常にステレオ音声で聞く場合は、「IF Wide」モードに変更してください。

- 1 FM受信中に、MENUボタンを押す。
- 2 SEEKダイヤルを回して「Receive Mode」を選び、ENTERボタンを押す。
- 3 SEEKダイヤルを回して「IF」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SEEKダイヤルを回して「Wide」を選び、ENTERボタンを押す。
- 5 MENUボタンを押す。

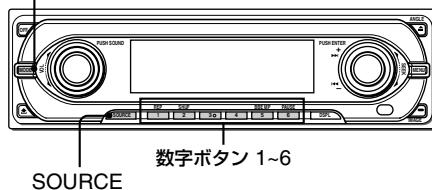
ご注意

「Wide」で雑音が入り聞きにくい場合は、「Auto」に戻してください。

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。

MODE



- 1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

- 2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 →
FM1 → …

- 3 登録したい放送局を受信する。(11ページ)

- 4 登録したい数字ボタンを「Memory」が表示されるまで押し続ける。



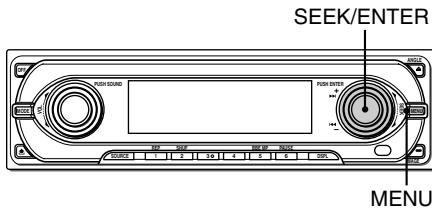
選んだ番号に受信している放送局が登録されます。

ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えます。

放送局を名前で探す (リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。名前の登録のしかたは、31~32ページをご覧ください。



- 1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。
- 2 SEEKダイヤルを回して「List」を選び、ENTERボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



- 3 SEEKダイヤルを回して、聞きたい放送局を選ぶ。
- 4 ENTERボタンを押す。

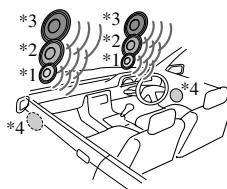
選局が終わると通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

カードリモコンで操作するには、ラジオ受信中に LISTボタンを押し、↑または↓を繰り返し押して放送局を選び、ENTERボタンを押します。

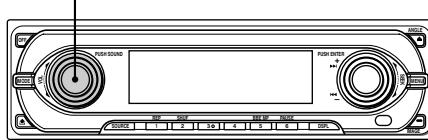
DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設置されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこで DSO (ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー) 機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー (バーチャルスピーカー) があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。



- *¹ DSO 1
- *² DSO 2
- *³ DSO 3
- *⁴ DSO off

SOUND/VOL



- 1 設定するソース (CD、MD、ラジオまたはAUX) を再生/受信する。**
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「DSO」を選ぶ。**

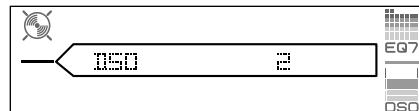
押すごとに、表示は次のように切り換わります。

EQ7 → DSO → BAS → TRE →
BAL → FAD → SUB → 通常画面 →
EQ7 → …

- 3 VOLダイヤルを回してDSOモードを選ぶ。**

回すごとに、表示は次のように切り換わります。

DSO 1 → DSO 2 → DSO 3 →
DSO off → DSO 1 → …



約3秒後に、通常の画面が表示されます。

DSOを解除するには

手順3で「DSO off」を選びます。

ご注意

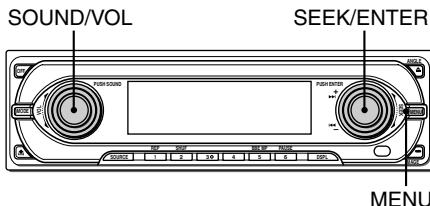
3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「DSO off」にすると聞きやすくなります。
- 車種やお聞きの曲により、DSOの効果がわかりにくい場合があります。
- DSOの設定は各ソースごとに記憶されます。
- カードリモコンで操作するには、手順1のあとに DSOボタンを繰り返し押して、DSOモードを選びます。

イコライザーを使う (EQ7)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定するソース (CD、MD、ラジオまたはAUX) を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「EQ7」を選ぶ。

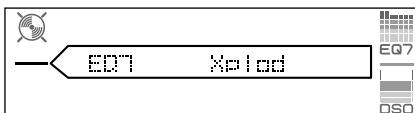
押すごとに、表示は次のように切り換わります。

EQ7 → DSO → BASS → TRE →
BAL → FAD → SUB → 通常画面 →
EQ7 → …

- 3 VOLダイヤルを回して、イコライザーカーブを選ぶ。

回すごとに、表示は次のように切り換わります。

Xplod → Vocal → Club →
Jazz → New Age → Rock →
Custom → off → Xplod → …



約3秒後に、通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには
手順3で「off」を選びます。

ご注意

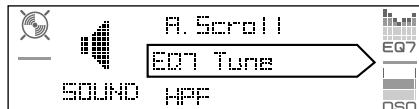
3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

- イコライザー設定は各ソースごとに記憶されます。
- カードリモコンで操作するには、手順1のあとに EQ7ボタンを繰り返し押して、イコライザーカーブを選びます。

好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定するソース (CD、MD、ラジオまたはAUX) を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 SEEKダイヤルを回して「Sound」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SEEKダイヤルを回して「EQ7 Tune」を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを押す。

- 6 SEEKダイヤルを回して、イコライザーカーブを選ぶ。



- 7 ENTERボタンを押す。

8 SEEKダイヤルを回して、レベルを調節する。

レベルの調節可能範囲は±10dBです。

9 ENTERボタンを繰り返し押して、周波数を選ぶ。

押すごとに、周波数は次のように切り換わります。

62Hz → 157Hz → 396Hz →
1.0kHz → 2.5kHz → 6.3kHz →
16kHz

手順8と9を繰り返して、イコライザーカーブを調節します。

「16kHz」を調節したあとにENTERボタンを押すと、確認画面が表示されます。

10 SEEKダイヤルを回して「YES」を選び、ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには

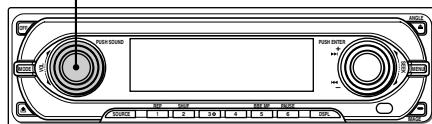
手順8または9でENTERボタンを2秒以上押し続けます。確認画面が表示されたら、SEEKダイヤルを回して「YES」を選び、ENTERボタンを押します。

ご注意

手順6で「off」を選ぶと、イコライザーカーブの調節はできません。

音質や音のバランスを設定する(バス・トレブル・バランス・フェーダー・サブウーファー)

SOUND/VOL



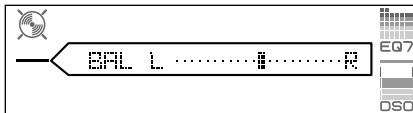
1 ソース(CD、MD、ラジオまたはAUX)を再生/受信する。

2 SOUNDボタンを繰り返し押して、サウンドの項目を選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

EQ7 → DSO → BAS → TRE → BAL → FAD → SUB → 通常画面 → EQ7 → …

バランス(BAL)の設定表示



BAS：低音の音質

TRE：高音の音質

BAL：左右のスピーカーバランス

FAD：前後のスピーカーバランス

SUB：サブウーファーの出力レベル

3 VOLダイヤルを回して設定を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

次のページへつづく

ご注意

3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。

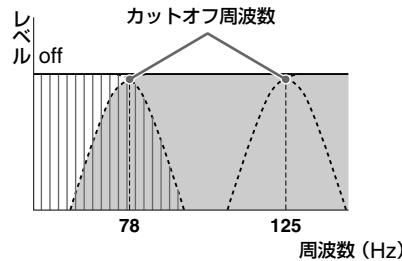
ちょっと一言

カードリモコンで操作するには、SOUNDボタンを繰り返し押してサウンドの項目を選び、**←**または**→**ボタンを繰り返し押して設定を調節します。

スピーカーのカットオフ周波数を選ぶ (HPF・LPF)

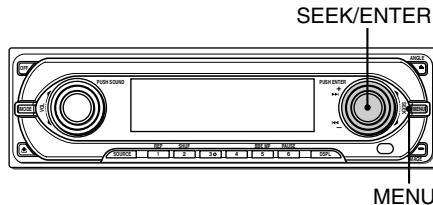
サブウーファーを接続した場合、スピーカーとサブウーファーの音域が連携するようにカットオフ周波数を調節します。

例：「78Hz」を選んだ場合



■：スピーカーの音域

□：サブウーファーの音域



- 1 ソース (CD、MD、ラジオまたはAUX) を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 SEEKダイヤルを回して「Sound」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SEEKダイヤルを回して「HPF」または「LPF」を選び、ENTERボタンを押す。

5 SEEKダイヤルを回して、カットオフ周波数を選ぶ。

「HPF」と「LPF」は同じ周波数を選んでください。

回すごとに、周波数は次のように切り換わります。

「HPF」：

off (初期値) ↔ 78Hz ↔ 125Hz

「LPF」：

off (初期値) ↔ 125Hz ↔ 78Hz

6 MENUボタンを押す。

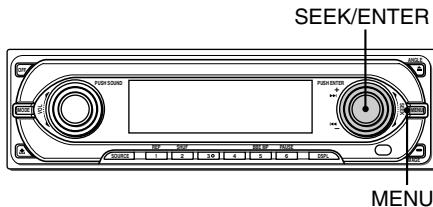
通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

HPFはサブウーファーを接続していないくても調節することができます。その場合、低い周波数成分がカットされます。

音や表示などの設定を換える

さまざまな設定がメニュー画面で換えられます。



- 1 MENUボタンを押す。
- 2 SEEKダイヤルを回してメニュー項目のカテゴリーを選び、ENTERボタンを押す。
- 3 SEEKダイヤルを回して設定したい項目を選び、ENTERボタンを押す。
カーソルが右に移動します。
- 4 SEEKダイヤルを回して設定を調節し、ENTERボタンを押す。
(例：「on」または「off」)
- 5 MENUボタンを押す。
通常の画面が表示されます。

Setupメニュー

設定の種類 (表示項目)	設定内容 (●) : 初期値
Clock Adjust	時計の設定。(8ページ)
Beep* ¹	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をon (●) / offする。
AUX-A* ²	SOURCEボタンを押したときの「AUX」の表示の有無を設定する。 on (●) : 「AUX」を表示する。 off : 「AUX」を表示しない。

Displayメニュー

設定の種類 (表示項目)	設定内容 (●) : 初期値
Clock	再生/受信中に常に時計を表示する。(on/off (●))
A.IMG	画面モードに登録されている画像を自動で切り換える。(off (●) /SA/Movie/ ALL) (30ページ)
Info	画像の表示中に表示窓の中央に表示される文字の有無を設定する。 on (●) : 文字を表示する。 DSPLボタンを押すと表示文字が切り換わる。 off : 文字を表示しないで、画像のみを表示する。
Dimmer	表示窓の減光を設定する。 Auto (●) : 車の照明を「on」にすると表示が減光する。 (車の照明電源に接続されている場合のみ) on : 車の照明に関係なく表示が減光する。 off : 車の照明に関係なく表示が減光しない。
Demo	再生/受信の停止中にデモを on (●) /offする。

A.Scroll	on : CD TEXT、MP3またはATRAC CDの表示を自動的にスクロールさせる。(17ページ) off (●) : スクロールさせない。
----------	---

Receive Modeメニュー

設定の種類 (表示項目)	設定内容 (●) : 初期値
Local	電波の強い放送局を受信する。(on/off (●)) (20ページ)
Mono	ステレオFM放送をモノラルにする。(on/off (●)) (20ページ)
IF	FM受信の周波数帯域を自動的に調節する。(Auto (●) /Wide) (21ページ)

Soundメニュー

設定の種類 (表示項目)	設定内容 (●) : 初期値
EQ7 Tune	イコライザーカーブを調節する。(24~25ページ)
HPF	フロント/リアスピーカーのカットオフ周波数を選ぶ。(off (●) /78Hz/125Hz) (26~27ページ)
LPF	サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ。(off (●) /125Hz/78Hz) (26~27ページ)
Loudness	音のバランスを補正して、小音量でも低音と高音を聞きやすくなる。(on/off (●))
AUX Level*3	AUX IN (外部音声入力)に接続した機器の出力レベルを設定する。(37ページ)

Editメニュー

設定の種類 (表示項目)	設定内容
Name Edit	ディスク/放送局に名前をつける。(31~32ページ)
Name Delete	ディスク/放送局の名前を消去する。(32~33ページ)
BTM	放送局を自動で登録する。(19ページ)

*1 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを使用した場合は「ピッ」という音は出ません。

*2 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続していないときにOFFボタンを押して、時計表示にしているときのみ設定することができます。

*3 ソースがAUXの場合のみ表示します。

ご注意

表示項目は選択されているソースにより異なります。

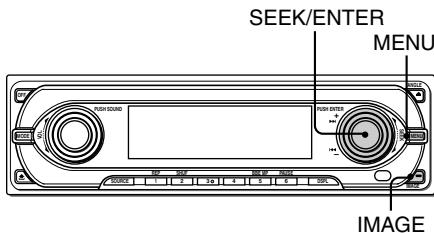
ちょっと一言

カーデリモコンで操作するには、SEEKダイヤルの代わりに、←、↑、→、または↓を使います。

↑または↓を2秒以上押すと、メニュー項目のカテゴリがスキップします。

画面モード・表示画像を設定する

本機はさまざまな画像を表示することができます。画像を自動で切り換えたり、お好みの画像のみを表示することができます。



好きな画像のみを表示する

- 1 ソース (CD、MD、ラジオまたはAUX) を再生/受信する。
- 2 IMAGEボタンを繰り返し押して、表示したい画像を選ぶ。

押すごとに、画像は次のように切り換わります。

スペースプロデューサーモード →
動画モード (1~2) → スペクトラムア
ナライザーモード (1~5) →
壁紙モード (1~3) → 通常画面 →
スペースプロデューサーモード → …
壁紙モードの表示



表示した画像を解除するには
手順2で通常画面を選びます。

Auto Imageモードに設定する

Auto Imageモードは画面モードに登録されている画像を、10秒おきに自動で切り換えます。

表示	機能
A.IMG SA	スペクトラムアナライザーモードの画像を繰り返し表示する。
A.IMG Movie	動画モードの画像を繰り返し表示する。
A.IMG All	全てのAuto Imageモードの全ての画像を順番に繰り返し表示する。

- 1 ソース (CD、MD、ラジオまたはAUX) を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 SEEKダイヤルを回して「Display」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SEEKダイヤルを回して「A.IMG」を選び、ENTERボタンを押す。
- 5 SEEKダイヤルを回して、設定したいモードを選び、ENTERボタンを押す。
回すごとに、モードは次のように切り換わります。
off ↔ SA ↔ Movie ↔ All
- 6 MENUボタンを押す。
通常の画面が表示されます。

Auto Imageモードを解除するには手順5で「off」を選びます。

ちょっと一言

「Info off」に設定すると、表示窓の中央に表示される文字を消して、画像のみを表示することができます。(28ページ)

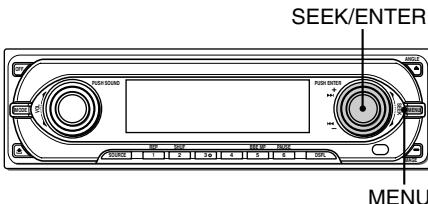
ディスク/放送局に名前をつける

(カスタムファイルーディスクメモ・ステーションメモ)

カスタムファイルとは?

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のソニー製CDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモやリスト機能を楽しむことができます。

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



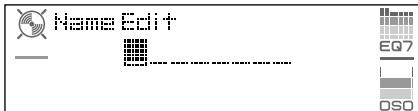
その他の操作

名前をつける

- 1 名前をつけたいCDまたは放送局を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 SEEKダイヤルを回して「Edit」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SEEKダイヤルを回して、「Name Edit」を選ぶ。

[次のページへつづく](#)

5 ENTERボタンを押す。



6 SEEKダイヤルを回して入力する文字を選び、ENTERボタンを押して次の文字に移動させる。

スペースを入れたいときは、続けてENTERボタンを押します。

一番右の文字を入力し終えてENTERボタンを押すと、確認画面が表示されます。

7 SEEKダイヤルを回して「YES」を選び、ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ご注意

CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモやリスト機能を操作することはできません。

ちょっと一言

- 手順6でSEEKダイヤルを回すごとに
A ↔ B ↔ ... Z ↔ 0 ↔ 1 ↔ ... 9 ↔ +
↔ - ↔ * ↔ / ↔ \ ↔ > ↔ < ↔ . ↔
_ (スペース) ↔ A
と換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字入力を間違えたときは、確認画面が表示されるまでENTERボタンを繰り返し押して、「NO」を選び、手順1からやり直してください。

名前を消去する

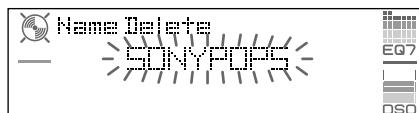
1 名前を消去したいCDが入った機器を再生中、またはラジオの受信中に、MENUボタンを押す。

2 SEEKダイヤルを回して「Edit」を選び、ENTERボタンを押す。

3 SEEKダイヤルを回して、「Name Delete」を選ぶ。

4 ENTERボタンを押す。

5 SEEKダイヤルを回して、消去するディスク名または放送局名を選ぶ。



6 ENTERボタンを押す。

確認画面が表示されます。

7 SEEKダイヤルを回して「YES」を選び、ENTERボタンを押す。

選択したディスク名または放送局名が消去されます。

ほかのディスク名、放送局名が登録されている場合は、「Continue」画面が表示されます。つづけて名前を消去するときは、SEEKダイヤルを回して「YES」を選び、ENTERボタンを押して、手順5、6を繰り返してください。

8 MENUボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ご注意

ディスク名の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

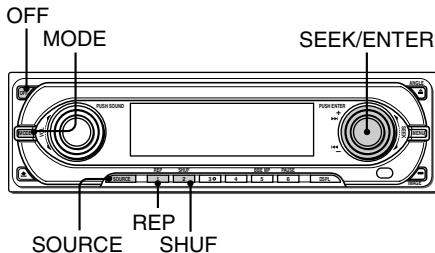
ちょっと一言

- CD TEXTの入ったディスク名を消去すると、もとのCD TEXTの情報が表示されます。
- 「ディスク/放送局に名前をつける」の手順6で、すべての文字に「_」(スペース)を入力して名前を消すこともできます。
- 名前がすべて消去されている場合は「NO Data」と表示されたあと、通常の画面に戻ります。

別売りの機器をつなぐ

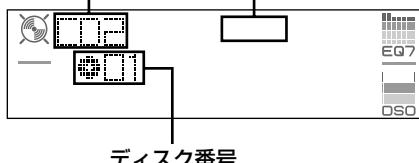
CD/MDチェンジャーを聞く

本機は、別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続して操作することができます。



- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。

CD/MD LP2 : LP2ステレオ再生時
ユニット番号 LP4 : LP4ステレオ再生時



- 2 MODEボタンを繰り返し押して、CD/MDチェンジャーを選ぶ。

CDの場合

CD1 (本機) →
CD2 (CDチェンジャー1) →
CD3 (CDチェンジャー2) → … →
CD1 → …

MDの場合

MD1 (MDチェンジャー1) →
MD2 (MDチェンジャー2) →
MD3 (MDチェンジャー3) → … →
MD1 → …

[次のページへつづく](#)

再生をやめるには

SOURCEボタンを押して別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、同じチャネル内の次のディスクを再生します。

スキップ操作

種類	操作
ディスク	チャネルを再生中にENTERボタンを繰り返し押して「DISC」を選び、SEEKダイヤルを回す。
グループ*	再生中にENTERボタンを繰り返し押して「GROUP」を選び、SEEKダイヤルを回す。
曲	再生中にENTERボタンを繰り返し押して「◀◀/▶▶」を選び、SEEKダイヤルを回す。

* MP3、ATRAC CD再生時のみ

繰り返し聞く(リピート再生)

再生中にREPボタンを繰り返し押します。

表示	機能
REP-Track	再生中の曲を繰り返す。
REP-Group*	再生中のグループ内の全曲を繰り返す。
REP-Disc	再生中のディスク内の全曲を繰り返す。
REP-off	リピート再生しない。

* MP3、ATRAC CD再生時のみ表示されます。

曲順を変えて聞く(シャッフル再生)

再生中にSHUFボタンを繰り返し押します。

表示	機能
SHUF-Group*	再生中のグループ内の全曲を順不同に再生する。
SHUF-Disc	再生中のディスク内の全曲を順不同に再生する。
SHUF-Changer	再生中のチャネル内の全ディスクを順不同に再生する。
SHUF-All*	再生中のソース(CDまたはMD)のすべての機器の全ディスクを順不同に再生する。
SHUF-off	シャッフル再生しない。

*¹ MP3、ATRAC CD再生時のみ表示されます。

*² MD再生時は、MDチャネルを2台以上接続しているときのみ表示されます。

ご注意

「SHUF-All」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

ちょっと一言

「SHUF-Changer」、「SHUF-All」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

ディスクを名前で探す(リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのソニー製MDチェンジャーで名前の記録されているMDを再生する場合
- 別売りのCD TEXT対応ソニー製CDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生する場合
- 別売りのMP3対応ソニー製CDチェンジャーでMP3を再生する場合*
- 別売りのカスタムファイル対応ソニー製CDチェンジャーでCDを再生する場合*

* ディスクメモ機能(31~32ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

1 CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中にMENUボタンを押す。

2 SEEKダイヤルを回して「List」を選び、ENTERボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。

3 SEEKダイヤルを回して、聞きたいディスクを選ぶ。

4 ENTERボタンを押す。

再生が始まります。

ご注意

CD TEXTで、記録されている文字数が極端に多い場合は、すべての文字を表示しなかったり、スクロールしないことがあります。

ちょっと一言

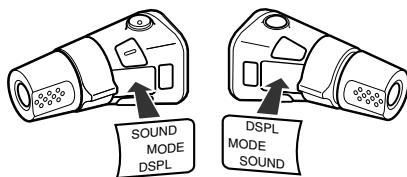
カードリモコンで操作するには、CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中にLISTボタンを押し、↑または↓を繰り返し押してディスクを選び、ENTERボタンを押します。

ロータリーコマンダーを使う

本機はロータリーコマンダー(RM-X4S)で操作できます。

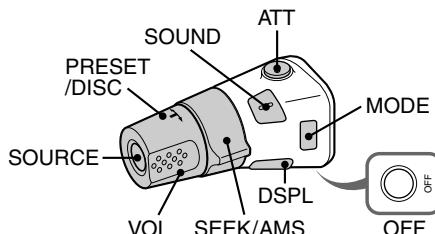
シールを貼る

ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

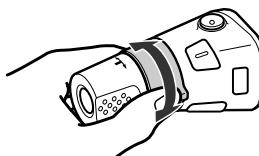


各部の名まえ

本体と同じ名称のボタンは、本体と同じ働きをします。



SEEK/AMSつまみ



ラジオ 自動的に放送局を受信する
回し続けると特定の周波数に合わせられます。

CD/MD 曲の頭出しをする
つまみを離してから2秒以内に再び
回し続けると、連続して曲がスキップします。
回し続けると早送り/早戻しにな
り、離すと再生に戻ります。

[次のページへつづく](#)

VOLつまみ



押しながら回すと



FM/AM 登録した放送局を順に受信する
CD (MP3、ATRAC CD再生時のみ)

..... グループを切り換える
つまみを戻してから2秒以内に再び
押しながら回すと、連続して切り換
わります。

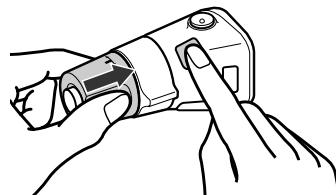
CD/MDチェンジャー

..... ディスクを切り換える
グループを選ぶには、押しながら回
し続けます。一度離してから2秒以
内に再びつまみを短く回すと、1つ
ずつ送れます。

* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側で
の使用を想定した方向になっています。

つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つ
まみの操作方向を逆に設定できます。



VOLつまみを押しながら、「RM Normal」ま
たは「RM Reverse」が表示されるまで
SOUNDボタンを押し続けます。

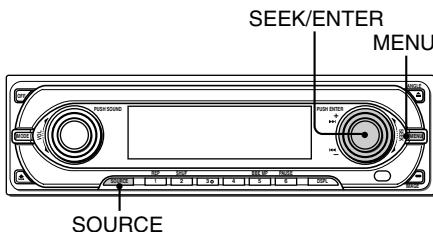
表示 設定

RM Normal 初期設定の回転方向

RM Reverse 運転席の右側に取り付けた
ときの回転方向

ポータブル機器の音声を聞く(AUX)

本機のバス音声入力(BUS AUDIO IN)端子は、外部音声入力(AUX IN)端子も兼ねています。別売りのCD/MDチェンジャーを接続する代わりに、別売りのDVDプレーヤーやオーディオプレーヤーなどのポータブル機器を接続し、その音声を車のスピーカーから聞くことができます。



ソースを設定する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「AUX」を選ぶ。



出力レベルを調節する

- 1 ソースが「AUX」のときに、MENUボタンを押す。
- 2 SEEKダイヤルを回して「Sound」を選び、ENTERボタンを押す。
- 3 SEEKダイヤルを回して、「AUX Level」を選ぶ。
- 4 ENTERボタンを押す。
- 5 SEEKダイヤルを回して、接続した機器に合わせて出力レベルを調節する。
- 6 ENTERボタンを押す。
通常の画面が表示されます。

その他の操作

ご注意

- ポータブル機器を接続した場合は、BUS CONTROL IN端子には何も接続しないでください。接続していると、SOURCEボタンを繰り返し押しても「AUX」に切り換わりません。
- 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続すると、ポータブル機器は接続できません。ポータブル機器とCD/MDチェンジャーを同時に使う場合は、外部入力セレクターをお使いください。
- ソースが「AUX」時に音量を上げ過ぎると、他のソースに切り換えたとき思わぬ大音量になることがあります。

ちょっと一言

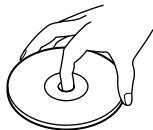
- 本機に接続した機器によって音量調節は異なります。
- 出力レベルの調節可能範囲は±6dBです。

使用上のご注意

CDについて

CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れない
ように持つ。

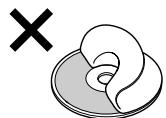
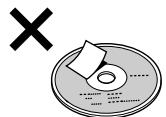
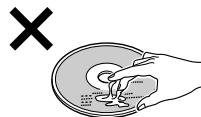


ディスクに紙などを
貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクを傷めることができます。

- 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。
 - また、ラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
 - レンタルCDでシールなどがめくれているもの。
-
- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。

次のような故障の原因となることがあります。

- ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
- 高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音とびがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

8cmCDについて

本機では、8cmCDの再生はできません。8cmCDアダプターも故障の原因となりますので、使用しないでください。

保存

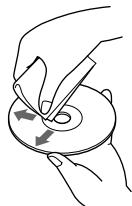
ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。



特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。

お手入れ

演奏する前に、演奏面についてホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。



ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

著作権保護技術対応音楽ディスクについてのご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合もあります。

CD-R/CD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集されたCD-R(レコードダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をしていないCD-R/CD-RWは再生できません。
- セッションの追加が可能なCD-R/CD-RWも再生できます。

MP3について

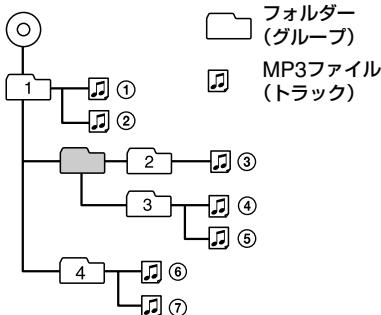
MP3(MPEG1 Audio Layer3の略)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すると、もとのファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

使用できるディスクフォーマットの主な規格は次のとおりです。

- ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠
- マルチセッションで記録したディスク
- ID3タグ ver.1.0、1.1、2.2、2.3、2.4
- 最大フォルダー(グループ)数：150(ルートフォルダー、ファイルの入っていないフォルダーを含む)
- 最大ファイル(トラック)数、フォルダー(グループ)数は合わせて最大300まで
- 最大フォルダー(グループ)名、ファイル(トラック)名：それぞれ32文字(Joliet)、32/64文字(Romeo)
- 最大ID3タグ：15/30文字(ver.1.0、1.1、2.2、2.3)、63/126文字(ver.2.4)

MP3ファイルの再生順序

フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次の通りです。



[次のページへつづく](#)

ご注意

- ファイナライズ処理をしたディスクを再生してください。
- ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後に拡張子「.mp3」をつけてください。
- 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイル再生時には、音とびする場合があります。
- 次の場合には再生経過時間表示が実際と異なることがあります。
 - VBR (Variable Bit Rate : 可変ビットレート) のMP3ファイルを再生したとき
 - 早送り、早戻し(手動サーチ) をしたとき

マルチセッションで記録したディスクを再生する場合のご注意

マルチセッションで記録したディスクでは、すべてのデータが再生されないことがあります。

- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータの場合：
最初のセッションのオーディオCDデータのみ通常に再生し、その他のデータはとばします。
2番目以降のセッションのデータは、すべてとばします。
- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータでない場合：
 - ディスク内にMP3ファイルがあれば、MP3のみ再生し、オーディオCDデータを含むその他のデータはとばします。
 - ディスク内にMP3ファイルがなければ、「NO Music」と表示し、オーディオCDデータを含むすべてのデータが再生されません。

あなたが〔放送やレコード、録音物、録画物、実演などを〕録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

ATRAC CDについて

ATRAC CDとは、ATRAC3形式またはATRAC3plus形式のファイルをOpen MG技術で暗号化して記録したCDのことです。

ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Codingの略) は音声信号圧縮方式の一つです。本機では、ATRAC3およびATRAC3plusフォーマットに対応しています。ATRAC3はもとの音声データを約1/10に、ATRAC3plusでは約1/20に圧縮するため、1枚のCD-ROMにCD約30枚分*を録音できます。

* 1枚60分のアルバムを700MBのCD-R/RWに48kbpsで録音した場合。

ATRAC CDで使用できるファイル(トラック)数、フォルダー(グループ)数は次のとおりです。

- 最大ファイル数：999
- 最大フォルダーナンバー：255

ATRAC CDについて詳しくは、SonicStageまたはSonicStage Simple Burnerの説明書をご覧ください。

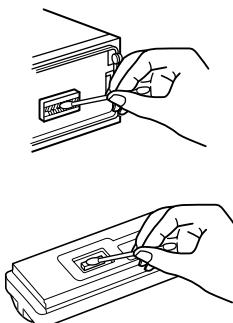
ご注意

ATRAC CDを作るには、Sonyのネットワーク製品に付属しているSonicStage 2.0以降、またはSonicStage Simple Burner 1.0 /1.1などのソフトウェアが必要です。

本機の取り扱い

コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



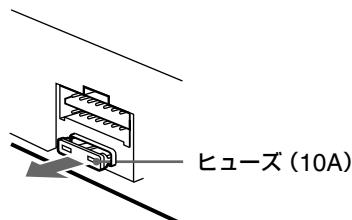
本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量を超えるヒューズや針金で代用すると故障の原因となります。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままでと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

表示窓の結露について

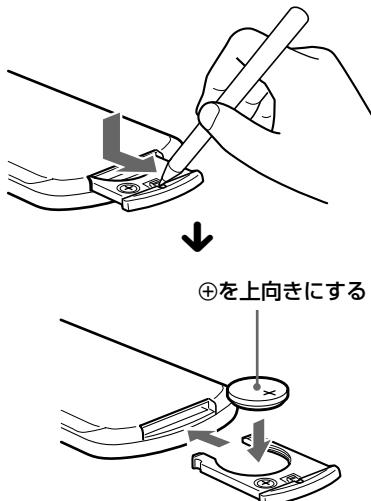
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくることがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくと結露が取り除かれ正常に戻ります。

[次のページへつづく](#)

カードリモコンの電池の入れかた

リチウム電池CR2025の \oplus と \ominus を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

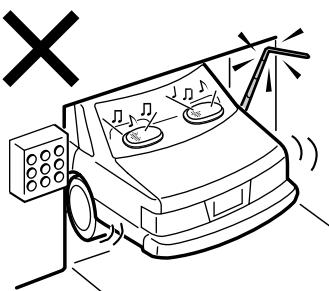
カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

その他のご注意

アンテナの高さより低い場所（駐車場や洗車機など）へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



故障かな?

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。ATT機能を解除してください。スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 →2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。MP3未対応のCDチェンジャーでMP3ディスクを再生している。 →本機またはソニー製MP3対応CDチェンジャー(CDX-757MXなど)で再生してください。別売りのMDLP未対応のMDチェンジャーで長時間録音のMDを再生している。 →ソニー製MDLP対応MDチェンジャー(MDX-66XLPなど)で再生してください。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">RESETボタンを押した。バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。電源コードが正しく接続されていない。
共通 ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">「ピッ」という音が出ない設定になっている。 →Beepの設定(28ページ)を「on」にしてください。内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを使用した場合は「ピッ」という音は出ません。
なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">OFFボタンを押し続けて表示を消した状態にしている。 →もう一度OFFボタンを押し続けて、表示を出してください。フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 →コネクター部をクリーニングしてください。(41ページ)
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">電源コードが正しく接続されていない。イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。

症状	原因・処置
ノイズが出る。	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
電源がOFFにならない。 共通	イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →OFFボタンを押し続けてください。
オートアンテナが上がらない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
ボタンを押しても動作しない。	RESETボタンを押してください。
ロータリーコマンダー（別売り）で操作できない。	ロータリーコマンダーの接続コードが本機のリモート入力端子にしっかり接続されていない。または接続コードがはさみ込まれている。
ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐ出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> すでに別のディスクが入っている。 ディスクを誤った向きに入れようとしている。 →ラベル（レーベル）面を上にして入れてください。
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> CDが汚れている。 →ディスクをクリーニングしてください。 ディスクが傷ついている。 本機の取り付け角度が45°を越えている。 本機が正しく固定されていない。 保存状態によりCD-R/CD-RWが劣化している。 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイルを再生している。
CDMD ATRAC CDが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> CDが、SonicStageやSonicStage Simple BurnerなどのATRAC CD作成専用ソフトで作られていない。 グループに属していない曲（トラック）は再生されません。
MP3ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> MP3未対応のCDチェンジャーの場合はCDと認識し、無音再生します。 ISO9660レベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。 →準拠しているCDを使用してください。 MP3ファイルに拡張子がついていない。 →記録した機器で拡張子「.mp3」をつけてください。 MP3ファイル以外に拡張子「.mp3」をつけている。

	症状	原因・処置
CD/MD	グループ名、曲名、ID3タグが「■」になる。 CD TEXTの文字が「■」になる。	本機で表示できる文字は、半角英数字と記号です。それ以外の文字は「■」と表示します。 また、タイトル情報の文字コードによっては正しく表示されないことがあります。
	MGS-X1とMDチェンジャーを同時に接続したときに、「MS」または「MD」がソース選択画面に表示されない。	本機はMGS-X1をMDと認識します。 →「MS」または「MD」が表示されるまでSOURCEボタンを押して、MODEボタンを繰り返し押してください。
ラジオ	受信できない。 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> パワーアンテナコントロールコード（青色）または、アクセサリー電源用コード（赤色）を、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 カーアンテナとの接続を確認してください。 オートアンテナが上がっていない。 →パワーアンテナコントロールコードの接続を確認してください。 周波数を確認してください。
	ENTERボタンを押しても「SEEK」を選び、SEEKダイヤルを回しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> 「Local on」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 →ローカル受信を解除してください。（20ページ） 電波が弱くて自動選局できない。 →「MANUAL」で周波数を合わせてください。（11ページ）
	ステレオ放送が聞きにくい。 ST表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> 周波数を確認してください。 電波が弱い。 →モノラルモードに設定してください。（20ページ）
サウンド設定	音が出ない。 音が小さい。	左右のスピーカー出力のバランス（BAL）、フロントとリアの出力レベル（FAD）の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。 →BAL、FADを調節してください。（25～26ページ）

次のページへつづく

エラー/メッセージ表示

表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
Error	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
Failure	スピーカーやアンプの接続が正しくない。	接続を確認するため、「取り付けと接続」説明書を見る。
Load	チェンジャーがディスクを読み込んでいる。	読み込みが終わるまでお待ちください。
Local Seek +/-	ローカル受信で放送局を探している。	放送局を受信するまでお待ちください。
NO Data	ディスク名、放送局名が消去されている。	「ディスク/放送局に名前をつける」(31~32ページ)で名前をつける。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Disc Name	ディスク名がついていない。	ディスク名、グループ名、曲名のついたディスクを再生する。
NO Group Name	グループ名がついていない。	「ディスク/放送局に名前をつける」(31~32ページ)で名前をつける。
NO Track Name	曲名がついていない。	
NO ID3 Tag	再生しているMP3ファイルにID3タグがついていない。	ID3タグのついたMP3ファイルを再生する。
NO Info	再生しているATRAC CDに文字情報がない。	文字情報が記録されているATRAC CDを再生する。

表示	原因	処置
NO Magazine	CDチェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
NO Music	本機またはMP3対応のCDチェンジャーに、音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データの記録されたディスクを入れる。
Not Read	ディスクの情報を読み込んでいない。	読み込みが終わるまでお待ちください。
Not Ready	MDチェンジャーのフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
Offset	内部に故障の可能性がある。	接続を確認する。 ディスプレイのエラー表示が消えない場合、お近くのソニーサービス窓口に相談する。
Read	ディスク内のすべてのトラック情報、グループ情報を読み込んでいる。	読み込みが終わると再生が始まります。しばらくお待ちください。 ディスクの階層などによっては、再生開始までに時間がかかることがあります。
Push Reset	何らかの原因で動作しない。	本機のRESETボタンを押す。
... または ...	CDの手動サーチ中に、ディスクの先頭または終わりになった。	それ以上前、または先に進めることはできません。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比：120dB
周波数特性：10～20,000Hz
ワウフラッター：測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数：76～90MHz（テレビ1～3ch）
中間周波数：10.7MHz/450kHz
実用感度：9dBf
周波数特性：30～15,000Hz
実効選択性：75dB（400kHz）
SN比：67dB（ステレオ）、69dB（モノラル）
ひずみ率（1kHz）：0.5%（ステレオ）、
0.3%（モノラル）
ステレオセパレーション：35dB以上（1kHz）

AM

受信周波数：522～1,629kHz
中間周波数：10.7MHz/450kHz
実用感度：30μV

アンプ部

適合インピーダンス：4～8Ω
最大出力：52W×4（4Ω負荷1kHz）

電源部、その他

電源：DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）
出力端子：

サブウーファー（モノラル）

音声出力端子

フロント音声出力端子

リア音声出力端子

アンプコントロール

アンテナコントロール

入力端子：

バス音声入力端子/外部音声入力（AUX IN）端子

バスコントロール入力端子

リモートコントロール入力端子

FM/AMアンテナ入力端子（Jaso用）

ATT入力端子（ナビ用）

イルミネーションコントロール入力端子

トーンコントロール：

低音：±8dB (100Hz)

高音：±8dB (10kHz)

ラウドネス：

100Hz : +8dB

10kHz : +2dB

本体寸法：

約178×50×188mm (幅/高さ/奥行き)

取付寸法：

約178×50×162mm (幅/高さ/奥行き)

質量：約1.6kg

付属品：

取り付け/接続部品（一式）

カードリモコン RM-X143 (1)

（リチウム電池（1）を含む）

取扱説明書（一式）

ソニーご相談窓口のご案内（1）

保証書（1）

ケース（1）

別売品：

CDチェンジャー（10枚）CDX-757MXなど

MDチェンジャー（6枚）MDX-66XLPなど

パワーアンプ XM-460GTXなど

外部入力セレクター XA-300

ソースセレクター XA-C30

ロータリーコマンダー RM-X6S、RM-X4S

1DIN AUXボックス GMD-700

バスケーブル (RCAピンコード付属)

RC-61 (1m)、RC-62 (2m)

バス延長コード RC-U305 (0.5m)

電源コード RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライ

ザーは接続できません。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

- イコライザー 7, 24~25
エラー表示 46~47
オートスクロール 17
音量 10, 11, 13

カ行

- カスタムファイル 31~32
カットオフ周波数 26~27, 29
カードリモコン 14~15, 42
画像 30~31
壁紙モード 30

サ行

- サブウーファー出力 25
シャッフル 18, 34
スキップ 34
スクロール 17, 29
ステーションメモ 31~32
ステレオ放送 20
スピーカーバランス 25
スペクトラムアナライザー
モード 30
スペースプロデューサーモード
..... 30

タ行

- ディスクメモ 31~32
テモ 9, 28
動画モード 30
登録
 自動登録 19
 手動登録 21
時計 8
トレブル 25

ナ行

- 名前
 探す 22, 35
 消去する 32~33
 つける 31~32
 表示する 17, 20

ハ行

- バス 25
バランス 25
ヒューズ 41
表示窓
 CD/MP3/ATRAC CD
 17
 ラジオ 20
フェーダー 25
フロントパネル 9
ベストチューニングメモリー
(BTM) 19
ボタンの音 28

マ行

- メッセージ表示 46~47
モノラル 20

ラ、ワ行

- ラジオ 11, 19~22
 自動選局 11
 登録 19, 21
 名前で探す 22
 名前を消去する 32~33
 名前をつける 31~32
リスト 22, 35
リセット 8
リピート 18, 34
リモコン
 カードリモコン
 14~15, 42
ロータリーコマンダー
 35~36

アルファベット順

A.IMG	28, 30
ANGLE	12
A.Scroll	17, 29
ATRAC CD	7, 16~17, 40
ATT	15
AUX-A	28
AUX Level	29, 37
BAS	25
BAL	25
BBE MP	7, 13
Beep	28
BTM	19, 29
CD/MDチェンジャー ...	33~34
CD/MP3/ATRAC CD	16~18
CD TEXT	7
Clock	8, 17, 19, 28
Clock Adjust	8, 28
Demo	9, 28
Dimmer	28
DISC	34
DSO	7, 23
EQ7	24
EQ7 Tune	24~25, 29
FAD	25
GROUP	13, 16, 34
HPF	26, 29
IF Auto/Wide	21, 29
Info	28
Local	20, 29
Loudness	29
LPF	26, 29
MANUAL	11, 13, 20
MDLP (LP2/LP4)	33
Mono	20, 29
MP3	39~40
Name Edit	29, 31
Name Delete	29, 32
PAUSE	13
REP	18, 34
RESET	8
PRESET	13, 19
SEEK	13, 20
SHUF	18, 34
SUB	25
TRE	25

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

- ナビダイヤル* ☎ 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
- 携帯電話・PHSでのご利用は* 03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
- FAX 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1 : 修理受付
- 2 : 使用方法や故障と思われるご相談
- 3 : お買物相談
- 4 : 業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5 : その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



- 主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています（80%以上）。
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません。
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。
- 外箱の印刷にVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油性インキを使用しています。
- 包装用緩衝材に発泡スチロールを使用していません。